窓口支援事例　【熊本県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

企業情報

BOASORTE

所在地	熊本県熊本市		
ホームページ URL	https://www.boasorte.net/		
設立年	2008 年	業　種	サービス業
従業員数	1 人	資本金	30 万円

企業概要

当社は『結婚』をキーワードに活動しております。

ブライダル総合プロデュース事業と結婚支援事業を主に行っており、ブライダル総合プロデュース事業内容は、結婚が決まったかたの結納から顔合わせ、結婚式に関して取り扱っております。また、ブライダル業従事者向けのプロフェッショナル認定セミナーの開催も行っております。

結婚支援事業の内容は、独身男女のカップリングをはじめ、結婚を学ぶというセミナーの開催や、熊本県や熊本市より依頼を受け、結婚応援サポーター養成講座等の講師としての活動を行っております。また、既婚者の夫婦相談も承っております。

自社の強み

当社は、ブライダル事業に関しまして、お客様のライフスタイルにあわせて結婚式までの準備を行います（ご自宅やカフェ等でのお打合せが可能）。ホテルでのサービス経験があるため細部まで現場に目が届きます。

また、結婚支援事業に関しましては、NPO 法人日本結婚協会認定相談員として現在も学びを深めながら、独身者の結婚の支援のあり方をテクニック的な視点ではなく結婚観に視点を置いた支援を行っています。結婚式で多くのカップルのリアルを見て経験する事で相談者への説得力も増します。結婚支援事業のビジネスモデルは、熊本県の経営革新計画の承認を受けました。

一押し商品

◆商標登録第５４４７９９０号　『ありがとう婚』

『なし婚』という入籍だけの結婚の歯止めのために作りました。家族だけの結婚式をメインにしたコンパクトな結婚式披露宴のパッケージを作っております。パッケージのラインナップは、カフェを貸し切っての Cafe 婚、屋形船を貸し切っての船上祝言、隠れキリシタンの教会（崎津教会）での結婚式等です。

◆商標登録第６００９７７５号　『縁結人』

独身者の結婚支援や夫婦相談を行う際に、「ウェディングプランナー」という肩書きでは違和感を与えるためにオリジナルのカテゴリーを作りました。ロゴと響きが相手に大変おめでたく happy なイメージを与えるため好評です。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、ブライダル総合プロデュース事業と結婚支援事業の両事業について熊本県よろず支援拠点に相談していたところ、「事業で使用する名称を商標登録した方がいいのではないか」と知財総合支援窓口を紹介され、当窓口を訪問されました。

最初の相談概要

同社が事業で使用するロゴについて、他人に真似されないように商標登録出願を行いたいとの相談がありました。これを受け、当窓口では、商標の概要、出願手続についてご説明のうえ、J-PlatPat を用いた先願調査に関する支援を行いました。その結果、類似と思われる他人の登録商標が見つかり、類否判断、登録の可能性について当窓口の知財専門家（弁理士）による支援を受けることを提案いたしました。

その後の相談概要

弁理士による支援を受け、ご自身で出願を完了し、無事に登録査定となりました。また、他社が新規開業するリゾート施設でのブライダル事業に参入することになり、商標のライセンスの整備が必要になったため、更に弁護士によるライセンス契約に関する支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社は、今回の商標登録出願を機に知財への意識が高くなり、同社の社名を含めたその他の商標についても権利化を検討するようになりました。今回の出願を機に、知財は自社事業に役立つということを認識して頂けたと思います。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

今回、大変親切に相談に乗っていただきました。当社のような小さな会社は、知的財産を守るために弁護士や弁理士などに費用を出して手続きを依頼することは優先順位として下位となります。しかし、こういった相談できる場所を利用すれば、全て自社で手続きを完了することができます。多くの企業が知財総合支援窓口を利用して、形のない知的財産を守ることをお勧めします。

窓口担当者から一言　（氏名：宮﨑　聖子）

よろず支援拠点からの紹介で支援が始まりましたが、最初の相談から実際に出願するまでの作業がとても速く、同社のヤル気を感じました。今回の商標が事業に役立つことになり、支援者としても嬉しく思います。今後は、他の商標の権利化等、ブランド戦略についての支援も行っていきたいと思います。

窓口支援事例　【熊本県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

企業情報

株式会社 BOASORTE

所在地	熊本県熊本市		
ホームページ URL	https://www.boasorte.net/		
設立年	2008 年	業　種	サービス業
従業員数	1 人	資本金	30 万円

企業概要

当社は『結婚』をキーワードに活動しております。

ブライダル総合プロデュース事業と結婚支援事業を主に行っており、ブライダル総合プロデュース事業内容は、結婚が決まったかたの結納から顔合わせ、結婚式に関して取り扱っております。また、ブライダル業従事者向けのプロフェッショナル認定セミナーの開催も行っております。

結婚支援事業の内容は、独身男女のカップリングをはじめ、結婚を学ぶというセミナーの開催や、熊本県や熊本市より依頼を受け、結婚応援サポーター養成講座等の講師としての活動を行っております。また、既婚者の夫婦相談も承っております。

自社の強み

当社は、ブライダル事業に関しまして、お客様のライフスタイルにあわせて結婚式までの準備を行います（ご自宅やカフェ等でのお打合せが可能）。ホテルでのサービス経験があるため細部まで現場に目が届きます。

また、結婚支援事業に関しましては、NPO 法人日本結婚協会認定相談員として現在も学びを深めながら、独身者の結婚の支援のあり方をテクニック的な視点ではなく結婚観に視点を置いた支援を行っています。結婚式で多くのカップルのリアルを見て経験する事で相談者への説得力も増します。結婚支援事業のビジネスモデルは、熊本県の経営革新計画の承認を受けました。

一押し商品

◆商標登録第５４４７９９０号　『ありがとう婚』

『なし婚』という入籍だけの結婚の歯止めのために作りました。家族だけの結婚式をメインにしたコンパクトな結婚式披露宴のパッケージを作っております。パッケージのラインナップは、カフェを貸し切っての Cafe 婚、屋形船を貸し切っての船上祝言、隠れキリシタンの教会（崎津教会）での結婚式等です。

◆商標登録第６００９７７５号　『縁結人』

独身者の結婚支援や夫婦相談を行う際に、「ウェディングプランナー」という肩書きでは違和感を与えるためにオリジナルのカテゴリーを作りました。ロゴと響きが相手に大変おめでたく happy なイメージを与えるため好評です。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、ブライダル総合プロデュース事業と結婚支援事業の両事業について熊本県よろず支援拠点に相談していたところ、「事業で使用する名称を商標登録した方がいいのではないか」と知財総合支援窓口を紹介され、当窓口を訪問されました。

最初の相談概要

同社が事業で使用するロゴについて、他人に真似されないように商標登録出願を行いたいとの相談がありました。これを受け、当窓口では、商標の概要、出願手続についてご説明のうえ、J-PlatPat を用いた先願調査に関する支援を行いました。その結果、類似と思われる他人の登録商標が見つかり、類否判断、登録の可能性について当窓口の知財専門家（弁理士）による支援を受けることを提案いたしました。

その後の相談概要

弁理士による支援を受け、ご自身で出願を完了し、無事に登録査定となりました。また、他社が新規開業するリゾート施設でのブライダル事業に参入することになり、商標のライセンスの整備が必要になったため、更に弁護士によるライセンス契約に関する支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社は、今回の商標登録出願を機に知財への意識が高くなり、同社の社名を含めたその他の商標についても権利化を検討するようになりました。今回の出願を機に、知財は自社事業に役立つということを認識して頂けたと思います。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

今回、大変親切に相談に乗っていただきました。当社のような小さな会社は、知的財産を守るために弁護士や弁理士などに費用を出して手続きを依頼することは優先順位として下位となります。しかし、こういった相談できる場所を利用すれば、全て自社で手続きを完了することができます。多くの企業が知財総合支援窓口を利用して、形のない知的財産を守ることをお勧めします。

窓口担当者から一言　（氏名：宮﨑　聖子）

よろず支援拠点からの紹介で支援が始まりましたが、最初の相談から実際に出願するまでの作業がとても速く、同社のヤル気を感じました。今回の商標が事業に役立つことになり、支援者としても嬉しく思います。今後は、他の商標の権利化等、ブランド戦略についての支援も行っていきたいと思います。

窓口支援事例　【熊本県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

企業情報

株式会社 BOASORTE

所在地	熊本県熊本市		
ホームページ URL	http://boasorte.wedding		
設立年	2008 年	業　種	サービス業
従業員数	1 人	資本金	30 万円

企業概要

当社は『結婚』をキーワードに活動しております。

ブライダル総合プロデュース事業と結婚支援事業を主に行っており、ブライダル総合プロデュース事業内容は、結婚が決まったかたの結納から顔合わせ、結婚式に関して取り扱っております。また、ブライダル業従事者向けのプロフェッショナル認定セミナーの開催も行っております。

結婚支援事業の内容は、独身男女のカップリングをはじめ、結婚を学ぶというセミナーの開催や、熊本県や熊本市より依頼を受け、結婚応援サポーター養成講座等の講師としての活動を行っております。また、既婚者の夫婦相談も承っております。

自社の強み

当社は、ブライダル事業に関しまして、お客様のライフスタイルにあわせて結婚式までの準備を行います（ご自宅やカフェ等でのお打合せが可能）。ホテルでのサービス経験があるため細部まで現場に目が届きます。

また、結婚支援事業に関しましては、NPO 法人日本結婚協会認定相談員として現在も学びを深めながら、独身者の結婚の支援のあり方をテクニック的な視点ではなく結婚観に視点を置いた支援を行っています。結婚式で多くのカップルのリアルを見て経験する事で相談者への説得力も増します。結婚支援事業のビジネスモデルは、熊本県の経営革新計画の承認を受けました。

一押し商品

◆商標登録第５４４７９９０号　『ありがとう婚』

『なし婚』という入籍だけの結婚の歯止めのために作りました。家族だけの結婚式をメインにしたコンパクトな結婚式披露宴のパッケージを作っております。パッケージのラインナップは、カフェを貸し切っての Cafe 婚、屋形船を貸し切っての船上祝言、隠れキリシタンの教会（崎津教会）での結婚式等です。

◆商標登録第６００９７７５号　『縁結人』

独身者の結婚支援や夫婦相談を行う際に、「ウェディングプランナー」という肩書きでは違和感を与えるためにオリジナルのカテゴリーを作りました。ロゴと響きが相手に大変おめでたく happy なイメージを与えるため好評です。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、ブライダル総合プロデュース事業と結婚支援事業の両事業について熊本県よろず支援拠点に相談していたところ、「事業で使用する名称を商標登録した方がいいのではないか」と知財総合支援窓口を紹介され、当窓口を訪問されました。

最初の相談概要

同社が事業で使用するロゴについて、他人に真似されないように商標登録出願を行いたいとの相談がありました。これを受け、当窓口では、商標の概要、出願手続についてご説明のうえ、J-PlatPat を用いた先願調査に関する支援を行いました。その結果、類似と思われる他人の登録商標が見つかり、類否判断、登録の可能性について当窓口の知財専門家（弁理士）による支援を受けることを提案いたしました。

その後の相談概要

弁理士による支援を受け、ご自身で出願を完了し、無事に登録査定となりました。また、他社が新規開業するリゾート施設でのブライダル事業に参入することになり、商標のライセンスの整備が必要になったため、更に弁護士によるライセンス契約に関する支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社は、今回の商標登録出願を機に知財への意識が高くなり、同社の社名を含めたその他の商標についても権利化を検討するようになりました。今回の出願を機に、知財は自社事業に役立つということを認識して頂けたと思います。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

今回、大変親切に相談に乗っていただきました。当社のような小さな会社は、知的財産を守るために弁護士や弁理士などに費用を出して手続きを依頼することは優先順位として下位となります。しかし、こういった相談できる場所を利用すれば、全て自社で手続きを完了することができます。多くの企業が知財総合支援窓口を利用して、形のない知的財産を守ることをお勧めします。

窓口担当者から一言　（氏名：宮﨑　聖子）

よろず支援拠点からの紹介で支援が始まりましたが、最初の相談から実際に出願するまでの作業がとても速く、同社のヤル気を感じました。今回の商標が事業に役立つことになり、支援者としても嬉しく思います。今後は、他の商標の権利化等、ブランド戦略についての支援も行っていきたいと思います。